

自動走行モビリティおよび移動体験を通じた回遊性向上の実証実験を実施 ～高輪ゲートウェイシティ(仮称)での実現に向けてウォータース竹芝で検証～

- 東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:深澤 祐二)は、「高輪ゲートウェイシティ(仮称)」のまちづくりでのモビリティサービスの提供に向けて、ゲキダンイノ合同会社(本社:大阪府大阪市、座長:嶋田 悠介)の協力のもと、自動走行モビリティおよび移動体験を通じた街の回遊性の向上についての実証実験を実施します。
- 3月11日・3月12日、ウォータース竹芝「プラザ(芝生広場)」での走行を通して、自動走行モビリティの歩行者との共存性を検証します。また、株式会社アトレや一般社団法人竹芝タウンデザインと連携し、移動体験および乗車中やモビリティスポットでのエンターテインメント体験を通して、アトレ竹芝の店舗情報や水辺空間の魅力を発信し、施設内の回遊性向上に繋げることができるか検証します。
- 本実証の結果を、高輪エリアの魅力向上に繋がるモビリティサービスの創出や、多様なモビリティが走行可能なプラットフォームの検討、また、街に設置するモビリティスポットの計画に活かしていきます。

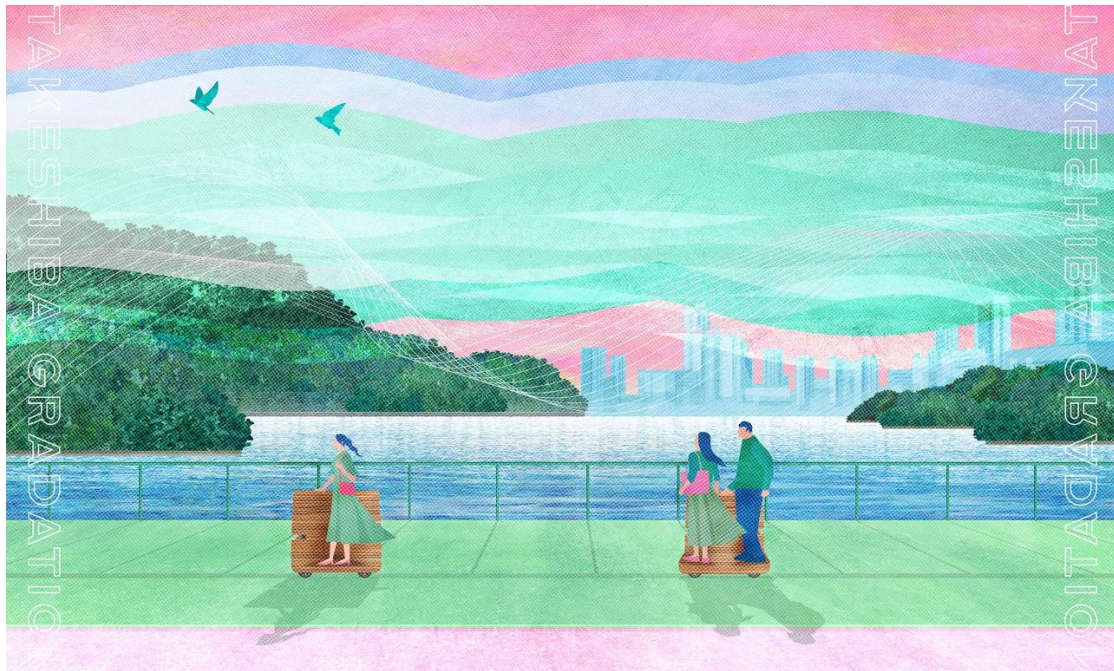
1 「高輪ゲートウェイシティ(仮称)」で目指すモビリティサービス

「高輪ゲートウェイシティ(仮称)」のまちづくりでは、街の南北を繋ぐデッキ上を、歩行者と共存可能な多様なモビリティで移動できる未来を目指します。また、単なる移動手段を超えて、街の施設や地域と連携しながら、エリアの魅力向上に繋がるモビリティサービスの創出に取り組みます。



2 実証実験概要

本実証では、自動走行モビリティの歩行者との共存性を検証するとともに、移動体験を通して、施設内の回遊性の向上や、消費行動などの行動変容の喚起が可能か、検証します。



(1)実施概要

期 間	3月11日(土)・3月12日(日) 各日 11:00～14:00、15:00～18:00 ※雨天時は中止になる場合があります。
場 所	ウォーターズ竹芝「プラザ(芝生広場)」周辺
参加方法	現地にて受付(先着順、受付開始:11時～) ※モビリティの台数に限りがあるため、乗車までお待ちいただく場合があります。
参加費	無料(※有料の各種物販も実施します。)

(2)検証モビリティについて

名 称	iino type-S712(イイノ タイプ エス 712)
サ イ ズ	全長 1195mm × 全幅 695mm × 全高 1050mm
最高速度	時速 5 キロ
乗車人数	3人(最大)



(3)検証項目

①自動走行モビリティの歩行者との共存性

自動走行モビリティで、歩行者空間を安全に走行可能か検証します。レストランやショップの多いアトレ竹芝タワー棟(以下「商業エリア」と)、エンターテインメント施設の多いアトレ竹芝シアター棟(以下「文化エリア」と)を結ぶ約300m間の移動を予定しています。

②搭乗者の行動変容を促す移動体験の有効性

商業エリアと文化エリア間の移動およびモビリティスポットでの体験を通して、アトレ竹芝の店舗やおすすめ商品情報、水辺空間の魅力を伝えることにより、搭乗者のうちどれくらいの方が実際に店舗や水辺を訪れたか、また、おすすめした商品を購入するなどの行動変容にいったか、検証します。

(4)体験イメージ

①受付

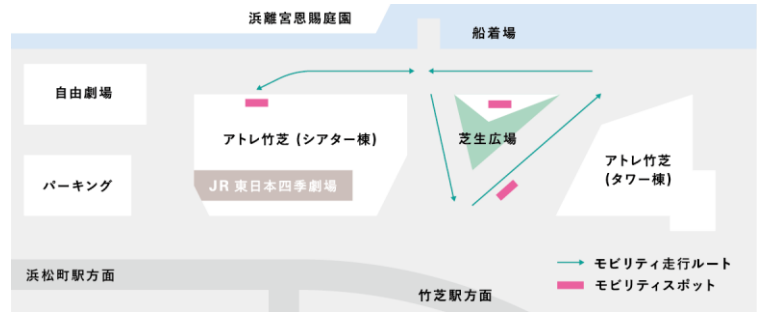
アトレ竹芝タワー棟入口付近に設置したモビリティスポット(受付)でチェックイン。肩掛けスピーカーを装着します。

②移動体験

自動走行モビリティに乗車しながら、肩掛けスピーカーを通して、アトレ竹芝の店舗情報や水辺空間の魅力を聴取します。途中ウォーターズ竹芝「プラザ(芝生広場)」付近に設置したモビリティスポットを経由し、ディスプレイ等を通じて、次のモビリティスポットへの期待感を醸成します。

③モビリティスポット「SHAKOBA(シャコウバ)」でのエンターテインメント体験

自動走行モビリティに乗車したまま、アトレ竹芝コミュニティスペース「SHAKOBA(シャコウバ)」に入店します。飲食や音楽などのエンターテインメント体験を通して、アトレ竹芝の店舗の魅力を体感します。



3 協力企業

一般社団法人竹芝タウンデザイン(ウォーターズ竹芝)、株式会社アトレ、株式会社リビタ(SHAKOBA)、バイオセボン・ジャポン株式会社

【参考】協力店舗

「SHAKOBA(シャコウバ)」



令和時代の新たな”社交場”をコンセプトとしたコミュニティスペース。日本独自のエンターテインメント文化であるカラオケ・スナック、ひとりでもみんなでも楽しめるフードとドリンクを、コミュニケーションを円滑にするツールと位置づけ、SHAKO(社交)を促進します。

「バイオセボン (Bio c' Bon) アトレ竹芝店」



地域のお客さまが気軽に日常使いできるフランス発のオーガニックスーパーマーケット。屋号の「バイオセボン」には「オーガニックっていいね」という想いが込められており、“新鮮な生鮮食品”と“日常使いできる品揃え”が人気を呼んでいます。

その他、詳細は各 Web サイトをご参照ください。

- ・ウォーターズ竹芝 <https://waters-takeshiba.jp/>
- ・アトレ竹芝 <https://atre-takeshiba.jp/>
- ・SHAKOBA(シャコウバ) <https://shakoba.com/>
- ・バイオセボン (Bio c' Bon) <https://www.bio-c-bon.jp/>

4 今後の展開

本実証の結果を踏まえて、「高輪ゲートウェイシティ(仮称)」のまちづくりで実装するモビリティサービスや、街に設置するモビリティスポットの計画を深度化していきます。

多様なモビリティの走行を可能にするモビリティプラットフォームを構築するとともに、都市 OS(都市や街の設備が持つデータを収集・分析するデータ連動基盤)との連携をはかり、天候や混雑状況、施設内のイベントや個人の属性・嗜好などに応じて、最適な台数とルートで走行できるサービスの実現を目指します。

【別紙】

〈高輪ゲートウェイシティ(仮称)のまちづくり 概要〉

品川開発プロジェクト(第I期)として、「高輪ゲートウェイシティ(仮称)」のまちづくりを推進しています。

江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たな文化・ビジネスが生まれ続ける街を目指しています。

MICE 施設、オフィス、商業等を含む複合棟 I および高輪ゲートウェイ駅周辺エリアを 2024 年度末(2025 年 3 月)に開業し、その他の棟(複合棟 II・文化創造棟・住宅棟)および各棟周辺エリアを 2025 年度中に開業します。

公式ウェブサイト(<https://tokyoyard.com/>)



〈ウォーターズ竹芝 概要〉

JR 山手線・浜松町駅から徒歩 6 分、JR 東日本が開発を行い、2020 年 10 月にまちびらきした水辺の複合施設です。施設内には、「JR 東日本四季劇場[春][秋]・自由劇場」「アトレ竹芝」「メズム東京、オートグラフ コレクション」「竹芝地区船着場(ウォーターズ竹芝前)」「竹芝干潟」「プラザ(芝生広場)」などがあります。JR 竹芝水素シャトルバスが運行中、東京駅から乗換なしで訪れることができます。

一般社団法人竹芝タウンデザインがタウンマネジメントを行っています。

「ウォーターズ竹芝」公式ウェブサイト(<https://www.waters-takeshiba.jp/>)

- ・Twitter https://twitter.com/w_takeshiba/
- ・Instagram https://www.instagram.com/waters_takeshiba/
- ・Facebook <https://www.facebook.com/waterstakeshiba/>

